

ティーチング・ステートメント

所属 観光マネジメント学科

名前 吉田 渉

作成日 2025.3.27

【責任】

観光マネジメント学科に所属し、主に経営・マーケティングに関する授業を担当している。担当科目は「経営学1・2」「経営管理論」「中小企業論」「マーケティング2」「マーケティングリサーチ」「データサイエンスとビジネス」等である。

【理念】

現在は変化が激しく、予測が困難な時代である。これまでの常識が通用しなかったり、正解のない課題があふれている。こうした時代を生きていくためには、大学の4年間で学内はもちろんのこと、学外でも多くのことを学んだり経験することで、選択肢を広げるとともに、物事を多面的に考える力を身につけることが重要である。また、企業経営ではグローバル化が進み、日本社会においても国際化が進んでいる現在、異文化や多様な価値観等のダイバーシティ（多様性）を理解する力を身につけることも重要となる。

したがって、理念としては、①基礎的な知識をもとにして物事を多面的に考える力を身につけることができる教育を行う、②ダイバーシティを理解する力を身につけることができる教育を行う、の2つをあげたい。

【方針・方法】

上記の理念を実現するために、本学では「1. 基礎的な知識をもとにして物事を多面的に考える力」を身につけ、「2. ダイバーシティを理解する力」を身につけた学生を育成したい。

1. 「基礎的な知識をもとにして物事を多面的に考える力」

方針1：授業内容の理解および基礎知識の定着

- ・授業では、内容を理解させるために丁寧な授業を心掛け、さらに授業内での繰り返しや小テストの実施によって基礎知識を定着させる。
- ・パワーポイントの使用や動画の利用等により、視覚的にも授業内容の理解および基礎知識の定着を目指す。

方針2：プレゼンテーション能力の向上

- ・授業やゼミにおいて学生が発表する機会を設けることで、基礎的な知識をもとに自分の考えをまとめてプレゼンテーションする能力を向上させる。

方針3：物事を多面的に考える力の養成

- ・授業においては様々な企業のケースを学んで多面的に考える機会を設け、ゼミにおいては自分とは異なる多面的な考え方に触れる機会を設ける。
- ・学外のゲスト講師による授業を行い、実務の重要性および社会との接点を提供することで、通常の授業とは異なる考え方に触れる。

2. 「ダイバーシティを理解する力」

方針1：企業経営のグローバル化の理解

- ・授業内で、企業経営におけるグローバル戦略や人材のグローバル化等について内容を理解させるために、様々な企業のケースを提示する。

方針2：多様な価値観の共有

- ・授業やゼミにおける意見やアイデア等について、互いにそれを認め合って共有できるような環境づくりを行う。

方針3：日本社会のダイバーシティの理解

- ・授業やゼミにおいて、企業や地域等のダイバーシティを理解させるために、様々なケースの提示や可能であればフィールドワークを行う。

【成果・評価】

- ・授業評価において、大変満足・満足の割合が3分の2以上である。
- ・授業評価では、授業内容が丁寧で分かりやすい、小テストを通して多くの企業について学ぶことができた等のコメントが寄せられている。特に、動画を利用した小テストに対する評価が高い。

【目標】

＜短期目標＞

- ・授業やゼミを通じた学生の多面的な思考力の養成
- ・興味関心がある専門分野を学生が見つけるためのサポート

＜中長期目標＞

- ・企業経営のグローバル化に対応できる学生の育成
- ・神奈川産学チャレンジプログラム等のビジネスコンペへの参加と入賞